

2015 図書館便り

第六巻 第一号

発行日 2015年3月2日

巻頭言

副館長 木曾 正之

目次:

巻頭言	1
私の推薦図書 氏家 仁志先生	2
私の推薦図書 並木 真理子先生	3
図書館員による推薦図書	4
利用者アンケート 音楽学部	6
利用者アンケート 短期大学	7
図書館からのお知らせ	8

昨年9月に発表された、文化庁による平成25年度「国語に関する世論調査」によると、「1か月に本を1冊も読まない」という回答が、全体では「47.5%」、10代「42.7%」、20代「40.5%」となっています。読書量が減っている理由として、スマートフォンなどの情報機器に時間が取られるが第3位になっています。スマートフォンがあれば、どこにいてもいろいろな情報に簡単にアクセスできるため、一昔前と比べると電車の中で読書をしている人もめっきり減ってきたのを実感しています。

また、スマートフォン、タブレット、読書用端末などで電子書籍を読んでいる人もまだまだ少ないと思います。

最近、ウェブ本棚サービスというサービスが台頭してきています。自分の読書履歴や書評をスマートフォンで簡単に残し、共有できるサービスです。いわば、読書の「見える化」のサービスです。「ブックログ」、「読書メーター」、「読書ログ」などがあり、個人だけではなく、図書館でも一部で利用されています。自分に合ったサービスを見つけて、スマートフォンを読書の「見える化」にも使用してみたいかがでしょうか？

図書館の入口の右手の「レコメンド・コーナー」には新着図書があります。

平成27年度は、「1か月に本を1冊も読まない」ということにならないように図書館を積極的にご利用ください。

＜私の推薦図書＞

【氏家 仁志 先生(音楽学部、教職センター)】

【図書】

書名：『自閉症の僕が跳びはねる理由』

ISBN： 978-4-900851-38-2

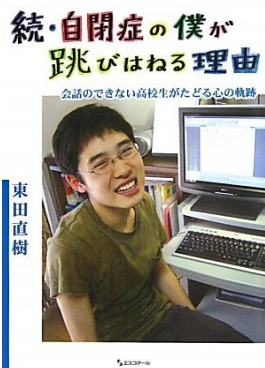
書名：『続自閉症の僕が跳びはねる理由』

ISBN： 978-4-900851-59-7

著者： 東田直樹

出版： エスコアール出版部

定価： 1,600円(税別)



「自閉の世界は、みんなから見れば謎だらけです。少しだけ、僕の言葉に耳を傾けてくださいませんか。そして、僕たちの世界を旅してください。」
～本のはじめの言葉より～

作者「東田直樹」さんは、自閉症という障がいを抱えて生きています。彼が、中学生の時に感じたことや考えたことを書いたものが「自閉症の僕が跳びはねる理由」です。そして、通信制の高校に入学し、3年生になった時に「続 自閉症の僕が跳びはねる理由」が書かれました。この二冊の本は、最も多感であり人格が完成されるであろう中学生から高校生のときにつづられたものであり、人と会話ができないという障がいのある東田さんの内なる

心、感じ考えた心の軌跡です。障がいのない人にとっては、自閉症という言葉は知っていても、その症状の現れ方にはそれぞれの違いや特徴があることは、あまり知らないのが現状ではないでしょうか。

いま、教育の制度においても、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みである「インクルーシブ教育システムの構築」が推進されているところです。大学で教職過程を履修し将来教員を目指そうとしている学生諸君には是非読んでいただければと思います。障がいへの正しい理解を通して、特別な支援を必要とする人の立場になって考え行動できる人となるために。

<私の推薦図書>

【並木真理子 先生(短期大学)】

書名:『絵本のよろこび』

著者:松居 直

出版社:日本放送出版協会 2003年

定価:1,600円(税別)

ISBN:978-4-14-080829-0

この本は、絵本を見る眼が変わる、まさに“目からウロコ”の1冊です。あの『ぐりとぐら』を生んだ月刊『こどものとも』(福音館書店)の編集長を長年務めた著者が、海外絵本や日本の昔話絵本、保育現場には必ずあるロングセラー絵本などの読み解き方を紹介し、絵本を見るときの大人と子どもの感覚の違い、絵本を通して知る絵の芸術性や言葉の美しさなどについて解説しています。

この本の特に魅力的な点は、紹介する絵本について、絵からの視点、言葉からの視点、場面展開からの視点でその絵本の持つ「楽しさ」を語っているところです。保育科の授業をしていると、学生のみなさんは、つい絵本を通して何かを子どもに教えなければという観点で絵本を見がちです。そのため、教訓的な場面に目がいつてしまい、各々の絵本が持っている本当の魅力に気づいていないのです。

この本の著者は、絵本を読み聞かせる立場の大人が絵本の本質的な楽しみ方を知ることこそが子どもの豊かな絵本体験につながると述べています。これは、保育者を目指す学生だけでなく、親になり我が子に絵本の読み聞かせをするであろう全ての人に気づいてほしいことです。この本で紹介されている絵本はみなさんも1度は目にしたことのあるものだと思いますが、各々の絵本にはこのような楽しさがあったのかと新たな発見をすることができると思います。どうぞ、この本を読んで、もう一度、「絵本のよろこび」を味わってください。

【図書館員からの推薦コーナー(図書)】 恒川 恵

【図書】

書名：『学年ピリのギャルが1年で偏差値を40上げて

慶應大学に現役合格した話』

著者：坪田信貴

出版：株式会社 KADOKAWA

定価：1,500円（税別）

ISBN：978-4-04-891983-8 C0095

刺激的なタイトル、表紙にはこちらを睨む金髪ギャル……。
キワモノっぽいなあ、と思ってましたが、しっかりした理論に
支えられたドキュメンタリーでした。

聖徳太子を“せいとく たこ”と読み、“太っててかわいそうな
女の子”と憐れんだり、“Hi, Mike”は“ヒー、ミケ”と、猫と勘違い(?)
していた高校2年生の金髪ギャルが、わずか1年で慶応大学
に合格するまでに至った奮闘の記録。

勉強開始直後のエピソードは面白すぎて紹介不能だが、
経験豊富な筆者との対話を積み重ね、次第にものを
調べ、知ることの喜びを感じるようになってくる。
また、“ああちゃん”と呼ばれるおかあさんや、おとうさん
などの家族も、味わい深いバイプレイヤーとして登場し、
物語に深みを与えてくれる。

【図書館員からの推薦コーナー(図書)】

さらに本書の特徴的な点は、折に触れて心理学や学習法の理論がわかりやすく紹介されていることだ。まぐれやビギナーズ・ラックではなく、理論に裏打ちされた科学的な方法によって、この成功がもたらされているのだ。その手法は具体的で、受験だけでなく、日常の仕事や生活でも応用可能である。巻末付録にも種明かしがあるが、素人目にも、なるほどと思わせてくれる。合奏のパートリーダーになった時など、学生の皆さんにも大いに役立ちそうなノウハウが満載だ。

さて皆さん、筆者がさやかちゃんを最初に見て、絶望的な知識不足だが、「この子はいける！」と思ったのは何だ、と思いますか？ それは、“しっかりした挨拶ができた”から。本学学生の皆さんもしっかりした挨拶ができますよね。ということは、皆さんの可能性も無限大、ということです。

最後にさやかちゃんからの手紙の一部を引用します。

「(前略) 本当は何か頑張った方がいいんだろうけど、頑張るってなんかダサし、恥ずかしいと思ってた・・・(中略) この本を読んでいただいた方に伝えたいです。“頑張る”って意外といいもんでした。(後略)」

2014年度 図書館利用者アンケート結果(2014年10月実施)

音楽学部(有効サンプル数 267)

問1. 利用頻度	利用 ほぼ 毎日	4週 回 に 利 3 用、	週 に 1 回	月 に 1 回	利用 と せ ん ず ど	合 計
図書館をどの程度利用していますか。	9.1%	36.0%	34.8%	16.1%	4.0%	100.0%

問2. 項目別評価	満足	まあ 満足	普通	やや 不満	不満	合 計
A. 図書の所蔵状況、種類	22.5%	33.9%	30.1%	9.3%	4.2%	100.0%
B. CDの所蔵状況、種類	14.7%	33.9%	29.9%	15.1%	6.4%	100.0%
C. 楽譜の所蔵状況、種類	14.6%	33.1%	31.4%	15.9%	5.0%	100.0%
D. 図書の貸出条件	36.5%	30.3%	26.1%	4.2%	2.9%	100.0%
E. CDの貸出条件	21.4%	24.6%	24.2%	19.7%	10.1%	100.0%
F. 楽譜の貸出条件	28.4%	27.1%	36.4%	5.5%	2.6%	100.0%
G. パソコンの台数(Windows)	34.5%	29.3%	27.7%	5.7%	2.8%	100.0%
H. パソコンの台数(Mac)	35.5%	26.0%	31.6%	4.3%	2.6%	100.0%
I. 学習用閲覧席の数	27.4%	26.6%	33.5%	8.9%	3.6%	100.0%
J. オーディオルームの数、貸出条件	24.6%	21.5%	32.9%	15.3%	5.7%	100.0%
K. 学生リクエスト制度	27.8%	26.3%	33.5%	5.7%	6.7%	100.0%
L. 貸出・返却等の事務手続き	35.0%	26.0%	30.1%	5.7%	3.2%	100.0%
M. 質問等に対するスタッフの対応	33.8%	25.7%	30.4%	5.9%	4.2%	100.0%
N. 開館時間	21.7%	19.8%	22.5%	21.7%	14.3%	100.0%
O. 全体的な雰囲気	34.7%	36.7%	24.4%	3.1%	1.1%	100.0%
P. 全体的な満足度	19.2%	40.8%	28.8%	9.6%	1.6%	100.0%

問3. 各種サービスの認知度	良 く 利 用	時 々 利 用	て 名 前 は 知 っ た	知 ら な い	合 計
①図書館サポーター	3.0%	16.5%	42.3%	38.2%	100.0%
②学生リクエスト	6.3%	12.4%	63.3%	18.0%	100.0%
③グループ学習室	5.6%	20.6%	48.7%	25.1%	100.0%

問4. 図書館セミナーの受講意向度	参 加 し た い	関 心 あ り	参 加 し な い	わ か ら な い	合 計
①図書館ガイダンス	5.9%	28.9%	44.5%	20.7%	100.0%
②楽譜検索セミナー	8.1%	34.9%	36.4%	20.6%	100.0%
③館内資料活用セミナー(楽曲解説)	11.3%	34.2%	33.9%	20.6%	100.0%
④館内資料活用セミナー(教職)	7.4%	27.6%	44.0%	21.0%	100.0%
⑤館内資料活用セミナー(就職)	8.7%	33.3%	34.1%	23.9%	100.0%

	変 化 な し	2 割 増	5 割 増	2 倍 増	2 倍 以 上	不 明	合 計
問5. インターネット上の音楽コンテンツ利用頻度変化 (2,3年前と比較した利用頻度の変化)	28.8%	25.9%	12.7%	9.0%	16.9%	6.7%	100.0%

2014年度 図書館利用者アンケート結果(2014年10月実施)

短期大学(有効サンプル数 188)

問1. 利用頻度	利 用 毎 日	4 週 回 に 利 用	週 に 1 回	1 一 回 カ 月 に	利 用 と せ ん ず ど	合 計
図書館の利用頻度	1.6%	3.2%	23.4%	30.3%	41.5%	100.0%

問2. 項目別評価	満 足	ま あ 満 足	普 通	やや 不 満	不 満	合 計
A. 図書の所蔵状況、種類	42.0%	29.9%	24.9%	3.2%	0.0%	100.0%
B. CDの所蔵状況、種類	38.0%	25.6%	27.7%	8.0%	0.7%	100.0%
C. 楽譜の所蔵状況、種類	44.2%	26.4%	24.0%	4.6%	0.8%	100.0%
D. 図書の貸出条件	37.7%	24.6%	30.5%	3.6%	3.6%	100.0%
E. CDの貸出条件	35.9%	26.1%	32.4%	3.5%	2.1%	100.0%
F. 楽譜の貸出条件	41.2%	23.5%	30.9%	3.7%	0.7%	100.0%
G. パソコンの台数(Windows)	41.1%	25.1%	30.1%	3.2%	0.5%	100.0%
H. パソコンの台数(Mac)	40.7%	25.3%	30.3%	2.5%	1.2%	100.0%
I. 学習用閲覧席の数	34.4%	25.0%	30.0%	7.5%	3.1%	100.0%
J. オーディオルームの数、貸出条件	21.8%	20.7%	28.8%	15.5%	13.2%	100.0%
K. 学生リクエスト制度	34.9%	24.7%	34.9%	3.4%	2.1%	100.0%
L. 貸出・返却等の事務手続き	32.0%	25.6%	33.1%	5.2%	4.1%	100.0%
M. 質問等に対するスタッフの対応	33.9%	17.6%	38.2%	6.7%	3.6%	100.0%
N. 開館時間	34.1%	19.1%	33.5%	11.6%	1.7%	100.0%
O. 全体的な雰囲気	47.1%	26.2%	22.1%	3.5%	1.1%	100.0%
P. 全体的な満足度	31.4%	40.0%	24.6%	1.7%	2.3%	100.0%

問3. 館内の資料・施設の利用状況	良 く 利 用	時 々 利 用	利 用 し な い	わ か ら な い	合 計
①図書館内の絵本	4.3%	47.9%	40.4%	7.4%	100.0%
②幼児教育・保育分野の本	6.9%	60.6%	16.0%	16.5%	100.0%
③「文庫百選」の文庫本	3.7%	16.5%	42.6%	37.2%	100.0%
④AVルーム	26.6%	55.8%	8.0%	9.6%	100.0%

問4. 各種サービスの認知度	良 く 利 用	時 々 利 用	あ り た こ と	知 ら な い	合 計
①図書館サポーター	1.6%	7.0%	17.6%	73.8%	100.0%
②学生リクエスト	1.1%	3.7%	50.3%	44.9%	100.0%
③グループ学習室	4.3%	8.6%	29.4%	57.7%	100.0%

【図書館からのお知らせ】

(1) 来年度(平成27年度)も図書館サポーターやります！

- 平成26年度の図書館サポーターは昨年12月22日(月)をもって終了しました。14名のサポーターの皆さん、お疲れ様でした。実働日数は149日間、合計で386件の相談に対応していただき、図書館利用者にとって頼りになる存在だったと思います。
- 図書館サポーターは好評につき、平成27年度も継続して実施します。4月の新入生オリエンテーションが終了し、授業が始まる日から活動開始となります。図書館サポーターから、楽譜等の検索・探索テクニックを伝授してもらい、図書館をフルに活用してください！

(2) グループ学習室について

- 平成26年12月より4号館の改修工事が始まったため、教室や練習室が不足する事態となっています。そのため、図書館2階のグループ学習室については平成27年4月から7月末まで、主に午後を中心に院生の論文指導室とすることになりました。なお、上記期間中においても、空いている場合は自由に利用可能です。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。